| 外国語科 | 第３学年 | 尾道市立瀬戸田中学校 | 指導者　藤井　夏樹 |
|---|---|---|---|

単元名

# Presentation1　日本文化紹介

令和２年　６月１９日（金）６校時　３年２組教室　　３年２組２８名（男子１２名　女子１６名）

## １　単元について

○　本単元は中学校学習指導要領「カ　書くこと」の内容に基づき設定した。中学校学習指導要領には以下のように記されている。

（ウ）「日常的な話題について，簡単な語句や文を用いて，出来事などを説明するまとまりのある文法を書く活動。」

### （１）単元観

本単元は，中学生の慎が,外国人に向けて英語で日本の伝統的な品物を紹介するという設定になっている。外国人にとってなじみのないものや日本独自のものについて,相手が分かるように英語で説明することは,英語使用の場面として実際に起こりうる状況であり,学習者にとってもイメージしやすい題材だといえる。新出文法はないが,既習の文法である受け身の文を活用した表現に適した内容である。

### （２）生徒観

本学級の生徒は，落ち着いて授業を受けることができるが，英語学習に関する意欲にはばらつきがあり，苦手意識を持っている生徒も多い。４月に行った「書く活動」においては，教科書の表現や内容をほぼそのまま使う文については５名の生徒が無回答，自分で考えて書く内容についてはほぼ半数の１３名が無回答であり，自信を持って書くことができない実態がある。また，つづりや文法の誤りが多く見られるなど，正確な記述にも課題がある。

### （３）指導観

指導に当たっては，小テスト等を通して頻出の表現や語句について，まずは少なくとも１文レベルでは自信を持って表現できるようにする。インプットを増やして文の形に慣れさせ，アウトプットを通じて定着させたい。本時では，チャートの利用により，用いる表現や書く内容，順序について整理させることで表現の足がかりとし，これなら書けそうだ」という実感を持たせ，間違いを恐れず書くことに挑戦させたい。文構造や文章の構成について視覚的に捉えられるようにICTを活用する。

### （４）　単元の目標

○間違うことを恐れず，学んだ表現を使ってまとまりのある文章を書こうとしている。
【ア. コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
○日本文化について, 文の構成や用いる表現に注意して５文以上で書くことができる。　【イ. 外国語表現の能力】
○文化紹介の英語を聞いたり読んだりして, 何が紹介されているか理解できる。　【ウ. 外国語理解の能力】
○人や物を紹介するときの文章の構成についての知識を身につけている。　【エ. 言語や文化についての知識・理解】

## ２　単元の評価規準

| 観点 | ア. コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | イ. 外国語表現の能力 | ウ. 外国語理解の能力 | エ. 言語や文化についての知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 評価規準 | ①間違うことを恐れず学んだ表現を使って，まとまりのある文章を書こうとしている。 | ①日本文化について, 文の構成（順序）や用いる表現に注意して５文以上で書くことができる。 | ①文化紹介の英語を聞いたり読んだりして, 何が紹介されているか理解できる。 | ①人や物を紹介するときの文章の構成についての知識を身につけている。 |

## ３　指導計画（５時間）

| 次 | 学習活動 | 評価規準<br>【観点】(評価方法) |
|---|---|---|
| 一 | ・受け身の文を含んだ文化紹介を読み, 内容を理解することができる。<br>【単元を貫く課題】日本文化を,相手に分かりやすく５文以上で紹介しよう。 | 【ウ①】(ワークシート) |
| 二 | ・人や物について簡単に説明することができる。（1）<br>・既習の文法事項である受け身を用いて１～２文で説明する。 | 【ア①】(ワークシート) |
| 三 | ・構成や内容に注意して日本文化について紹介する文を書く。<br>・モデル分から構成や内容についての知識を得て, どのような表現や順序を用いればふさわしい紹介文となるかを知る。<br>・実際に文を書き, 推敲して内容を向上させる。<br>（本時２/２時間） | 【エ①】後日ペーパーテスト<br>【イ①】(ワークシート)<br>【イ①】（ペーパーテスト） |
| 四 | ・ALT に向けて日本文化について発表する。ALT からの質問に答える。（後日） | 【エ①】（ペーパーテスト） |

## ４　本時の展開（４／５時間）

### (1) 本時の目標

日本文化について, 文の構成（順序）や用いる表現に注意して５文以上で書くことができる。

### (2) 観点別評価規準

| 十分満足（A） | おおむね満足（B） | 努力を要する生徒への手だて（C） |
|---|---|---|
| 日本文化の紹介を, 相手に分かりやすい内容や構成に注意しながら, ５文以上の英語で書いている。 | 日本文化の紹介について, ふさわしい内容の英文を, 構成に注意しながら３～４文で書いている。 | 日本文化について, 内容を表す文が書けていないか, １～２文で書いている |
| 記述例１<br><br>This is called “Hanetsuki”. It is a game like badminton. It is played on New Year’s Day. The racket is called “Hagoita” . It is made of wood. | 記述例１<br><br>This is called “Hanetsuki”. It is a kind of badminton. It is played on New Year’s Day. | ・文の中に内容が伝わらないような文法上のミスがある。 |

(3) 学習の展開

| 学習活動 | 指導上の留意点（〇）<br>予想される生徒の反応（・） | 評価規準（評価方法）<br>配慮を要する生徒への支援<br>（◆） |
|---|---|---|
| 1　あいさつ<br>2　既習事項の復習<br>英語表現チェック<br><br>3　本時の学習課題を確認 | 〇英語を使用する雰囲気を作る。<br>〇受け身の文などを復習する<br>〇ICT を用いて文法事項等を振り返る。<br><br>〇マリー先生の文化紹介を見せ，ゴールイメージと目的意識を持たせる。 | |
| めあて：マリー先生に分かりやすく日本文化を紹介できる。 | | |
| 4　分かりやすい表現<br>・文化紹介のモデル文を複数示し，より「分かりやすい」と感じる方を選び，理由を考える。<br>・いくつかの例を挙げ，考えさせる。<br>・使われている表現について，自分の紹介文に取り入れられそうなものを考える。<br><br>5　自分が紹介する日本文化を決める。<br><br>6　チャートを使い，表現や構成を整理する。<br>（考えをまとめるためのシンキングツール利用） | 〇情報の種類と，提示する順序に注目させる。<br>**〇ICT を利用してモデルの提示を工夫し，情報の種類と順序が視覚的に捉えられるようにして，構成に注目させる。**<br><br>〇理由を言わせ，生徒から出た意見を全体にフィードバックし，続く活動につながるようにする。<br>〇文の順序に注目させる<br>〇受け身の文や，it is(looks) like，a kind of など説明に用いられそうな表現にも注目させる。<br>〇自己決定させ，意欲の向上を図る。<br><br>〇教師によるチャート使用のデモンストレーションを行う。**ICT を用いて，どのように考え，チャートに記入するかをリアルタイムで見せる。**キーワードを用いて口頭で教師がモデルを見せる。 | **瀬戸田シンキングタイム**<br><br>◆ペア学習で考えと理由を交流<br><br>◆板書するなどして提示し，表現の参考になるようにする。<br>◆決められない生徒のために例を挙げる<br><br>◆例示によりチャートの使用⇒スピーキング⇒英文づくりのイメージをもたせる。 |
| 7　書こうと思うことについて話す。（ペア活動） | 〇チャートの内容をフィードバックし，他の生徒のヒントになるようにする。<br>〇チャートを見ながら，キーワードからどうにか英語を作ろうとさせる。意欲を評価し，肯定感を持たせる。 | ◆チャートの内容がヒントになるようにする。<br>◆終了後，短時間でお互いアドバイスをさせる。 |
| 8　５文以上で日本文化を紹介する英文を書く。<br><br>9　まとめ<br>・本時の振り返りをする。 | 〇ヒントとなる単語を TOOLBOX として示す。<br>・記述例<br>This is called “Hanetsuki”. It is a game like badminton. It is played on New Year’s Day. The racket is called “Hagoita” . It is made of wood.<br><br>〇具体的に書くように指示する<br>（構成について分かったことや，紹介文を書くときに気をつけたことを振り返らせる） | イ）①日本文化について，文の構成（順序）や用いる表現に注意して５文以上で書くことができる。 |

※□囲みで示した活動が，本時におけるシンキングタイムである。